

「令和 8 年熊本地震に関する1カ月後報告会」を開催しました（2026/8/27）

テーマ：災害緊急調査、報告会、令和 8 年熊本地震

会 場：オンライン（Zoom ミーティング）および YouTube Live 同時配信

URL：https://irides.tohoku.ac.jp/event/event_jn/detail---id-6344.html

災害科学国際研究所は、2026 年 7 月 28 日に発生した「令和 8 年熊本地震」を受け、発生直後から情報収集や解析、情報提供、現地調査等を進めてまいりました。発生から約 1 か月となる 8 月 27 日、得られた知見を広く社会へ共有するため、オンライン報告会を開催しました。

冒頭では、越村俊一所長（災害ジオインフォマティクス研究分野）が被災されたみなさまへお見舞いの言葉を述べるとともに、「私たち研究者の使命は災害に向き合い、科学的エビデンスに基づく有益な知見を、できるだけ速やかに共有させていただくことだと考えます。本日の議論が、被災地の復興と巨大災害に対する社会全体の防災力向上に資する、実りあるものとなることを祈念します」と挨拶しました。続いて、各分野の研究者が 10 項目にわたり最新の知見を発表しました。

【プログラム】 司会：森口 周二（計算安全工学研究分野 教授）

開会挨拶

越村 俊一 所長（災害ジオインフォマティクス研究分野 教授）

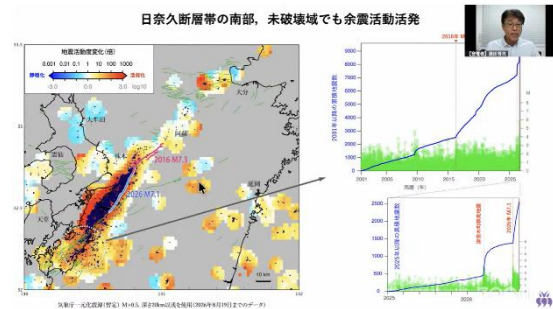
1. 応力伝播と地震活動変化からみた平成 28 年（2016 年）熊本地震と令和 8 年（2026 年）熊本地震
遠田 晋次（陸域地震学・火山学研究分野 教授）
2. 地殻変動データを用いた地震時断層すべり推定
岡田 悠太郎（上廣防災学寄附研究部門 助教）
3. 令和 8 年熊本地震の地表地震断層と変位量の分布、ならびに八代地域の地形との関係
高橋 尚志（陸域地震学・火山学研究分野 助教）
4. 地震動と建物被害
地震動特性
大野 晋（地震工学研究分野 准教授）
令和 8 年熊本地震における低層建物被害の速報的報告
榎田 竜太（地震工学研究分野 准教授）
5. 令和 8 年熊本地震での災害医療コーディネーションサポートチーム活動
佐々木 宏之（災害医療国際協力学分野 准教授）
6. 災害後一か月のメンタルヘルスの特徴ー過去の DPAT 派遣経験を踏まえてー
國井 泰人（災害精神医学分野 准教授）
7. 災害後中長期の公衆衛生的課題
大類 真嗣（災害公衆衛生学分野 准教授）
8. 報道を通じた災害の影響分析
ベスコポ ルベン（災害ジオインフォマティクス研究分野 助教）
9. 2026 年熊本地震における被害・報道・支援のマクロ的傾向
佐藤 翔輔（防災社会推進分野 准教授）
10. 日奈久断層帯の割れ残りと思われる八代海区間の災害への備えについての一考
小野 裕一（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス 教授）

今回の報告会には、Zoom ミーティングおよび YouTube Live の同時配信を通じて、延べ 900 名の方々にご参加いただきました。当研究所では今後も多角的なデータ収集と分析を進め、被災地の復旧・復興支援と社会全体の防災力強化に全力で取り組んでまいります。

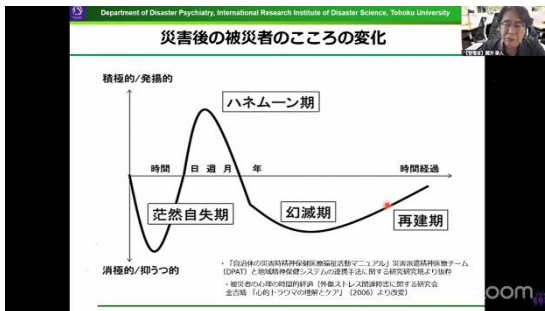
文責：佐藤 正則（広報室）



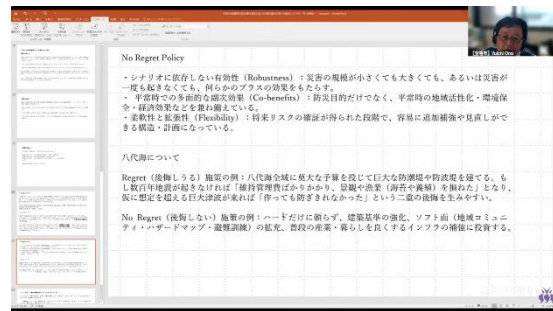
冒頭で挨拶する越村所長



遠田教授の発表



國井准教授の発表



小野教授の発表